



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和4年11月25日 No. 23

読書のすすめ

前号でお知らせしましたが、先週「図書館フェスティバル」が行われました。図書委員会の子どもたちが読書をすすめる活動に取り組んでいます。この機会に、たくさんの本に触れてほしいと思います。分からないことがあるとスマホで検索したり、動画を視聴したり、情報を得るためのツールがたくさんあり、便利な社会となりました。しかし、じっくりと読書をしたり、知りたいことを本で調べたりすることを大切にしてほしいと思います。すぐに結論が出ないからこそ、どんなことだろうかと自分でじっくりと考えながら読むことが大切だと思うのです。

随分と前になりますが、秋田大学教授の講演を聞く機会がありました。私がお話を聞いたA先生は、秋田県内の山村の小学校と中学校を卒業し、首都圏の工場へ集団就職された方でした。その当時、中学卒業と同時に関東へ集団就職する人がほとんどで、通信制高校に通いながら、仕事をされたそうです。

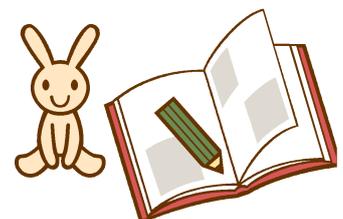
その頃の目標は、工場で身に付けた技能で日本一になること。ところが、仕事中に大けがをし入院、技能コンテストに出場できなくなってしまったそうです。目標をなくしていたA先生へ、友達がお見舞いに持ってきてくれたのが、小説「青い山脈（石坂洋二朗著）」でした（秋田県横手市が舞台と言われている当時の人気青春小説です）。

A先生は、それまで読書をあまりしなかったけれど、「青い山脈」を読み始めると本に引き込まれていったそうです。でも、読めない漢字があり（A先生曰く、「集団就職希望であったので、学校の勉強は真面目に取り組んでいなかった。」）、辞書を使って本を読み進めるうちに、読書に引き込まれ、入院している間に、もう1冊、また1冊とたくさんの本を読むことができました。漢字を調べながら読書をしているうちに、A先生の興味は漢字へと広がり、もっと深く知りたいと思うようになり、働きながら大学（夜間学部）に通い、中国の古典についての研究を仕事にしたのだそうです。研究を続けられ、中国古典研究の最高位の賞をいただくまでに。私が講演を聞いたのは、その受賞直後でした。A先生は、素晴らしい賞をもらうきっかけとなったのは、お見舞いにももらった「青い山脈」。自分の人生を変えたのは1冊の本であったと、振り返っておられました。

講演の最後に、お話されたことです。こんな内容でした。

「本を読むと出会いがある。私たちは、すべてのことを体験することはできない。でも、それをかなえてくれるのは本である。本を読むことで、南極やアマゾン、月へ、宇宙にも本の中で行くことができる。はるか昔の歴史についても知ることができる。直接体験には限りがあるけれども、本を通してたくさんのことを間接的に体験できる。子どもたちには、たくさんの本を読んで、豊かな体験をしてほしい。たくさんのお会いをしてほしい。」

本との出会いを通して、たくさんの体験をしたり、勇気をくれる本、心がウキウキする本、自分を変えてくれる1冊と出会ってほしいと思います。



3年校外学習「警察署」11/22

3年生は由利本荘警察署へ校外学習。署内の見学だけでなく、なんとパトカーにも乗車させてもらいました。



4年校外学習「秋田ふるさと村」11/22

4年生はふるさと村で伝統工芸品について学習してきました。それぞれ作品作りも体験しました。



12月行事予定

- 1日(木) 秋田県学習状況調査(4~6年)
総合学力調査(1~3年)
※全校5校時限
- 2日(金) 総合学力調査(1~3年)
- 7日(火) PTA授業参観 学級懇談
PTA三役・事業部会
中間会計監査
- 9日(金) へいそく(ごへい)作り(4~6年)
- 13日(金) 博士号教員授業(3年理科)
- 14日(水) クラブ(3年生見学)

※ 諸般の事情により変更することがありますことを予めお含みおきください。

- 15日(木) 全校計算テスト
市授業力向上訪問
※全校5校時限
- 17日(土) 本荘由利児童生徒美術展
(~19日 カダーレ)
- 21日(水) 子ども会 クラブ
- 23日(金) 冬休み前集会
(4時バス・キピーなし)
- 24日(土) 冬季休業(実質12/24~1/15)

※学校閉鎖12/28(水)~1/4(水)